

令和2年第4回西海市議会定例会

市政一般に対する質問一覧

月 日	通告順	登壇順	氏 名	頁
12月1日 (火)	1	1	刈瀬栄子議員	1
	2	2	清水正明議員	3
	3	3	平井満洋議員	4
	4	4	田川正毅議員	5
12月2日 (水)	5	1	小嶋俊樹議員	7
	6	2	杉山誠治議員	8
	7	3	戸浦善彦議員	9

1. 瀧瀬 栄子 議員

質問事項 1

西海市第 2 期障がい児福祉計画について

質問の要旨

- (1) 令和元年度一般会計決算審査の際、西海市療育支援相談センターが行っている「児童発達支援・放課後等デイサービス」について質疑したところ、待機児が 8 名いるとの答弁であった。待機児解消の取組みが令和 3 年度からの「西海市第 2 期障がい児福祉計画」に反映されるのか伺う。
- (2) 「西海市第 1 期障がい児福祉計画」において、医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置が目指されていたが、第 2 期では医療的ケア児への支援が具体的に取られることになるのか伺う。

質問事項 2

避難行動要支援者の避難体制の整備について

質問の要旨

- (1) 西海市避難行動要支援者名簿の提供に関する要綱が、平成 31 年 3 月 20 日に告示されているが、これに基づいた名簿は作成されているのか。また、名簿を提供できる関係者と連携して避難を迅速かつ円滑に実施する体制が構築されているのか伺う。
- (2) 令和 2 年 9 月 30 日に、西海市福祉施設連絡協議会と災害時における要配慮者の避難施設としての社会福祉施設等への受入れに関する協定を結んだと聞き及んでいるが、受入れ可能人数について伺う。
- (3) 医療的ケア児の保護者の方から、台風 10 号接近の際に避難を検討したが、支援がなく実際には避難できなかったとの声が寄せられた。

佐賀県武雄市では、令和 2 年 8 月 30 日に、避難行動要支援者のうち医療的ケア児の避難訓練を実施していたと知り、同市福祉部こども発達支援室より資料を提供していただいた。本市においても支援が必要であると思うが、いかがお考えか。

質問事項 3

農地保全について

質問の要旨

大瀬戸町雪浦地区において、河通川臨時河川等整備工事（長崎県単独事業）が、

平成 31 年 3 月に完成している。

本年 7 月の豪雨の影響により河通川が氾濫し、この事業によって一部の農地は被災を免れたが、その一方で被害が発生した農地があり、河川整備の延長を求める声が寄せられている。

そこで、農地の保全のため、河川整備の延長を長崎県に要望すべきと思うが、いかがお考えか。

質問事項 4

瀬戸港の焼島地区と向島地区の漁船係留施設について

質問の要旨

平成 30 年 6 月定例会における一般質問において、瀬戸港焼島地区では、台風接近時など、岩場を代用して漁船を係留している状況があり、また、向島地区では、高潮が堤防を越える状況であることから、その対応を質問した際、「長崎県に確認したところ、焼島地区は実態把握中であるが現状では整備は難しい。向島地区は現状を把握しているが、補修は未定であり、市として早期の補修を要望していく」との答弁であった。その後の進捗状況を伺う。

また、令和元年 7 月には、大瀬戸町漁業協同組合から、「焼島地区における台風避難時に使用する係船環の補修の要望書」が提出されているが、その後の進捗状況を伺う。

質問事項 5

平島漁港の丸尾地区の整備について

質問の要旨

崎戸町平島漁港では、平成 30 年 10 月の台風被災に続き、本年 9 月の台風により新栈橋係留杭が破損する被災があり、台風が接近するたびに被災するという事態が続いている。

平成 28 年 5 月に平島東行政区長から出されている「①西側侵入波浪防止の沖防波堤を新設すること、②港湾岸壁、背後地への高潮浸水防止のため、港湾周辺岸壁の嵩上工を実施すること」という要望を踏まえた平島漁港の整備が行われなければ、今後も被災を免れない状況が続くのではないかと懸念するが、いかがお考えか。

質問事項 6

松島の台風や豪雨などによる被災について

質問の要旨

- (1) 本年7月の豪雨や9月の台風などの影響により、大瀬戸町松島港西泊地区では、大量の漂着ゴミが押し寄せた。また、海岸保全施設が破損し、そのコンクリート破片が散乱するという事態も起こっているが、対策を講じる考えはないか伺う。
- (2) 松島仁崎地区でも、海岸保全施設（護岸）が大きく破損し、西泊地区と合わせて、この事態を憂慮する声が寄せられている。仁崎地区は、長崎県の西彼杵沿岸海岸保全基本計画（平成30年6月）では、老朽化に伴い改良工事を実施する可能性があるとされているが、その工事は行われたのか。また、今回の被災を受けて、どのような対策が講じられるのか伺う。

2. 清 水 正 明 議員

質問事項 1

入札制度について

質問の要旨

- (1) 指名業者の範囲は、市内業者及び準市内業者の受注拡大を目的とする趣旨で、西海市建設工事入札制度要綱第5条第3項の規定を改正したとの答弁であったが、市のホームページの「事業者の方へ」として公表されている同要綱は、早急に更新すべきと考えるが、いかがか。
また、改正された後も、業種によっては、県内業者や準県内業者も混在して指名されている入札があるが、同要綱の改正の趣旨を十分反映した指名がされているのか伺う。
- (2) 市内業者以外の業者は、落札数制限を1箇月受けるが、この制限を受け「明らかに入札に参加出来ない業者」を指名し、入札執行通知書を出していると思われる入札案件があるが、何故か伺う。

質問事項 2

市所有の太陽光発電施設について

質問の要旨

- (1) 本年9月の台風接近に伴い、多くの方々が公共施設に避難された。本年第3回定例会後の総務文教常任委員会で、太陽光発電施設がある避難所における停電時

の電力利用状況をお尋ねしたところ、蓄電池がある1箇所のみ利用とのことであった。一般的に、太陽光発電施設の設置目的の1つに、停電時の電力供給も含まれると考えるが、多くの施設で利用しなかった理由を伺う。

- (2) 長崎オランダ村は、電力会社と同施設に隣接する県の平成23年度地球温暖化対策推進事業補助金によって設置した太陽光発電施設の電力を使用しているが、同発電施設の電気利用料は市に収められているのか伺う。

質問事項3

火葬場における残骨灰の処分について

質問の要旨

- (1) このことについて、指名競争入札において毎年1円で業務委託しているとのことであるが、亡くなった方への敬意及び遺族の心情に配慮した場合、他の自治体で実施しているように有価物として適正な価格で処分すべきと考えるが、市長の見解を伺う。
- (2) 本市が設置している西海斎場では、入口付近の屋外に残骨灰置場が設置されているが、来場者の目に留まらないような場所に設置すべきと考えるが、市長の見解を伺う。

3. 平井満洋 議員

質問事項1

各種工事及び業務委託等の指名基準並びに今年度上半期の指名状況について

質問の要旨

- (1) 指名競争入札における予定価格ごとの指名人数については、西海市建設工事入札制度要綱で規定されているが、実際の指名でこの規定は守られているのか伺う。
- (2) 市内業者及び準市内業者の認定基準は守られているのか伺う。
- (3) 落札業者が西海市競争入札の落札数制限に係る基準の規定による落札制限の適用を受けた場合で、入札制度要綱の規定による指名人数に満たない場合があると思うが、その場合の対応を伺う。

質問事項2

松島架橋について

質問の要旨

架橋実現に向けた取組みを継続していくべきと考えているのか否か伺う。

質問事項 3

旧長崎オランダ村Cゾーンについて

質問の要旨

今後の活用をどのように考えているのか伺う。

質問事項 4

長崎オランダ村について

質問の要旨

令和2年12月1日よりリニューアルオープンした長崎オランダ村に対し、西海市は、今後どのような支援を行っていくのか伺う。

質問事項 5

緑ヶ丘団地について

質問の要旨

令和3年より分譲が予定されている緑ヶ丘団地について、区画整理が行われた上段3区画の前面市道は拡幅が必要と思うが、市長の考えを伺う。

4. 田 川 正 毅 議員

質問事項 1

医療・福祉の充実について

質問の要旨

- (1) 平成30年第2回定例会における一般質問において、市内医療体制の現状と課題について伺った。以後、健康ほけん課に医療政策班が設置され、また、医療検討委員会も再起動されて2年以上経過したが、当時答弁の中で市長が挙げっていた諸課題に対する取組みについて、その進捗状況を伺う。
- (2) 令和2年第2回定例会における一般質問において、本市の医療・福祉分野における人材不足の打開策として、私から外国人の人材活用に関する提言を行ったが、以後、人材不足についてどのような対策を講じてきたのか伺う。
- (3) 令和2年第2回定例会における一般質問において、医療従事者の人材確保については、西海市奨学金貸付制度において、保健師助産師看護師法、理学療法士及び作業療法士法などに規定する学校又は養成所へ進学する学生に対し、奨学金の

貸付を行っているが、貸付実績が少なく、奨学金制度の市民への積極的な周知方法について検討する必要があるとの答弁があったが、その後どのように取り組んでいるのか現状を伺う。

質問事項 2

市内企業の発展と協力体制について

質問の要旨

- (1) 10月31日付けの日本経済新聞で、Jパワーが非効率な石炭火力設備を2030年までに段階的に廃止又は更新する方針を示し、松島火力発電所がその対象となる可能性が高いと報じられた。

これを受け、11月4日に市長と議長がJパワー本社へ要望活動のため訪問したとのことであるが、要望活動の結果を踏まえ、松島火力発電所存続のため、今後どのように取り組んでいくのか伺う。

- (2) 西海市として、木材チップなどを活用したバイオマス燃料開発やミドリムシなどのプランクトンによるバイオエネルギー等の研究・開発を企業や研究機関・国・県に働きかける考えはないか伺う。

- (3) 大島造船所をはじめとする造船業は、本市経済を支える重要な産業であり、今後も本市において継続的かつ安定的に事業を展開していただけるよう、市としても支援体制を強化する必要があると考える。

令和元年第3回議会定例会での一般質問において、「業界団体や造船所を有する自治体と連携し、また、西海市議会や全国の市議会と歩調を合わせて、政府に支援要請を図る考えはないか」と伺った際、市長は「造船企業を有する県内外の各自治体との連携について、まずは、県内での調整を図るため、長崎県市長会に対し、協議会等の設置ができないかの検討をお願いするため、県内の大手造船所を有する長崎市及び佐世保市へ連携を呼びかけてまいりたい」と答弁されたが、その後の取組み状況について伺う。

質問事項 3

市内公立高校の存続について

質問の要旨

- (1) 令和2年第3回議会定例会での一般質問において、市内高校の存続については、あらゆる機会を捉えて市内公立高校3校の存続に向けた協議及び働きかけを行うとの市長答弁があったが、その後の活動状況について伺う。

- (2) 令和2年第3回議会定例会での一般質問において、県立西彼杵高校と市立大瀬戸中学校との中高一貫教育に対する考え方について伺った際、教育長から長崎県教育委員会が示した連携型中高一貫教育の導入に関する要件を満たさないため、実現が困難であるとの答弁があった。長崎県教育委員会に対して、要件緩和を要望すべきと思うが、考えを伺う。
- (3) 市内高校存続に向けて、離島留学制度や魅力ある学科や部活動の設置などについての研究及び要望活動を早急に行う必要があると考えるが、市長及び教育長の考えを伺う。

質問事項4

西海市職員の資質向上と健康管理について

質問の要旨

- (1) 西海市政に山積する課題克服のためには、職員の資質向上は不可欠である。
市長も「職員力向上」を目指し、職員の各種講習会・研修会などへの参加、派遣など積極的に取り組み、また、職員提案制度などを実施されているが、その成果と今後の課題について伺う。
- (2) 行政運営においては、職員の資質向上と同時に健康管理も重要である。
職員の中には、精神面や身体面での不調により職務に従事できないケースも見受けられるようだが、職員が職務に対して高いモチベーションを維持し、良い健康状態で勤務できるようにするため、職員の健康管理についてどのように考えているのか伺う。

5. 小 嶋 俊 樹 議員

質問事項1

松島火力発電所の廃炉方針について

質問の要旨

政府は、非効率な石炭火力発電所を2030年までに廃止する方針であり、新聞では、電源開発が、この政策に沿い、兵庫県の高砂火力発電所や本市の松島火力発電所の廃止又は高効率な設備への更新を検討する旨を表明したと報道されている。

このことは、発電所の操業地域である松島や大瀬戸地区の経済問題はもちろんのこと、まちづくりの基本計画にも大きな影響を及ぼすと考えられる。

そこで、次の点について伺う。

- (1) 報道後すぐに市長や議長が電源開発本社に赴き、松島火力発電所の存続について要望されたと聞いているが、その結果を受け、どのように対応していくのか伺う。
- (2) 大瀬戸地区の住民や関連事業者との情報交換は、実施されているのか。また、実施されていれば、どのような取組みがなされているのか伺う。
- (3) 電源開発は、中国電力と共同で石炭火力発電の高効率化及び低炭素化を目指し、石炭ガス化複合発電（IGCC）に燃料電池を組み合わせた燃料電池複合発電（IGFC）やCO₂分離・回収の技術確立に向け取り組んでいる。
これらの技術を松島においても導入するよう要望すべきと考えるがいかがか。

6. 杉山誠治 議員

質問事項 1

行政手続きのデジタル化について

質問の要旨

新内閣において「デジタル庁」が創設され、今後、行政のデジタル化が進むと思われる。マイナンバーカードを使ってできる手続きも増えていくなか、次の事について本市の状況を伺う。

- (1) 本市における直近の「マイナンバーカード」の取得率を伺う。
- (2) 子育てに関する手続きをはじめ、様々な申請や届出をオンライン上で行うことができるマイナポータル「ぴったりサービス」について、現在、本市の申請等には利用できない状況だが、今後利用できるよう整備する予定があるのか伺う。

質問事項 2

住まいと暮らしの安心を確保する居住支援について

質問の要旨

- (1) 空き家等が増える一方、高齢者、低所得者、被災者等住居確保要配慮者は増えていると聞く。本市における実態と対応を伺う。
- (2) 我が国においては、生活困窮者自立支援制度の住居確保給付金の支給決定件数が、今年4月から9月までの半年間で、昨年度1年間の約26倍に上っていると聞く。本市における実態と対応を伺う。

7. 戸 浦 善 彦 議員

質問事項 1

公有財産の管理について

質問の要旨

市の施設において、管理が不十分との声がある。

特に、旧長崎オランダ村Cゾーンの建物や構造物は劣化が激しく、この一帯は廃墟化しているとの指摘があることから、公有財産の適切な維持管理について市長の考えを伺う。

質問事項 2

防災・減災に関する政策について

質問の要旨

(1) 本市は、米海軍佐世保基地に寄港する原子力艦船の放射線量のモニタリングポストを西海町寄船・横瀬地区に設置するように国へ要望しているが、その後の進捗状況を伺う。

(2) 原子力艦船の事故等を想定した原子力災害等への対策を講じる必要があると考えるが、見解を伺う。

(3) 現在、本市が指定している避難所 50 箇所のうち、学校体育館についても開設してほしいとの声が寄せられている。

車などの移動手段がない人が徒歩でも避難できる最寄りの避難所として、学校体育館を開設する考えはないか伺う。

(4) 昨今、避難方法も多様化する中、本市でも車による自主避難場所として公園等も想定される。

市民の指摘の中に市内の公園の場所が分かりづらいとの声もある。例えば、新西海橋に隣接する西海の丘公園を利用する方からは、案内看板が少ないとの声が寄せられている。

そこで、市内の各公園に利用者に分かりやすい案内看板を設置する考えはないか伺う。

(5) 県港湾の瀬川港などにおいて、暴風雨による漁船等の避難の妨げとなっているケースが見受けられる。

については、係船がスムーズに行われるための検討ができないか伺う。

質問事項 3

経済景気政策について

質問の要旨

コロナ禍における西海市内の景気・経済動向をどう分析されているのか伺う。
その上で、令和3年度へ向けて市内経済をどう支えて行くべきか市長の見解を伺う。

質問事項 4

未来を担う人材育成について

質問の要旨

全国的には不登校の児童生徒が増加傾向にあり、その要因は、いじめや友人関係の悩み、学業不振など様々である。また、市役所を始めとして各職場でも、人間関係や業務上の悩みから休職や退職に至るケースがあったと聞く。これらを踏まえ、将来を担う児童生徒が希望をもって学び、また、これから市役所を背負って立つ若い職員が充実感の中で業務に取り組むことのできる環境づくりは重要と考える。

そこで、未来を担う人材育成について、市長、教育長の考えを伺う。